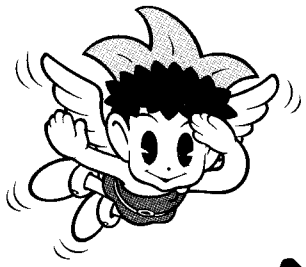
クボタ 乗用 田植機

取扱説明書

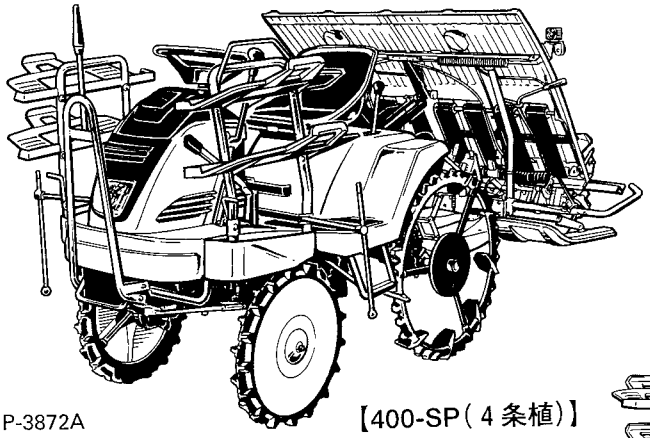


RAINBOW

400K-SP

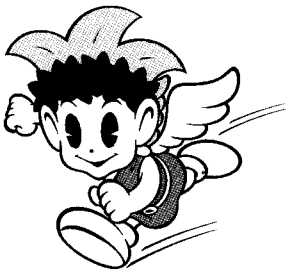
Joycom SPJ 400-SP
500-SP

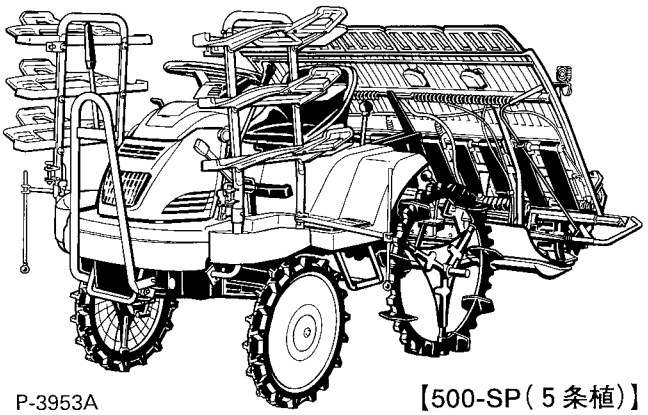
SUPER Joycom SPJ 450-SP



P-3872A

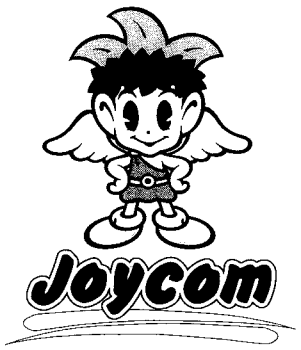
【400-SP（４条植）】





P-3953A

【500-SP（５条植）】



ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

仕様について

この取扱説明書では**“SPJ400K･400”**(別冊の取扱説明書参照)を基本とし，**“SPJ400K･400”**と取扱いが異なる部分の説明をしてあります。

SPJ400-H-SP

(別冊の取扱説明書参照) 表1

表1

型式		SPJ400K			SPJ400					SPJ450		SPJ500	
区分		SP	B1-SP	B2-SP	SP	SP2	S-SP	S-SP2	SD-SP	DM-SP	ADM-SP	S-SP	SD-SP
諸装置	あぜごえアーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あぜごえレバー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	回動式予備苗のせ台	—	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
	延長苗のせ台	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	○	○

目　次

⚠安全に作業するために … ⚠-1

各装置の名称と取扱い …… 1
- 各装置の名称とはたらき …… 1
  - あぜごえアーム …… 1
  - あぜごえレバー …… 2
  - 回動式予備苗のせ台 …… 2
  - マスコット …… 3
  - ボンネット …… 3
  - けん引フック …… 3

移動走行 …… 4
- 乗車走行・降りての走行について …… 4
  - 乗車移動走行前の準備のしかた …… 4
  - 駐・停車のしかた …… 5
  - 降りての走行，及び乗車走行のしかた … 5
- 輸送について …… 8
  - トラックとあゆみ板の準備 …… 8
  - 積み・降ろしのしかた …… 8
- ほ場への出入り …… 9
  - ほ場への出入りのしかた …… 9

メンテナンス …… 10
- 圧縮スプリングの脱着 …… 10

付表 …… 11
- 主要諸元 …… 11
- オプション部品(別売) …… 13

⚠ 安全に作業するために

必ず読んでください。

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

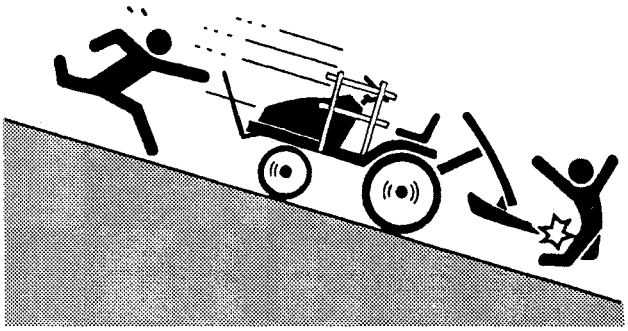
1．安全に作業するため次のことがらを必ず守ってください。

■安全指示順守

●本書および本機編(別冊)や機体に貼っている警告ラベル，注意ラベルをよく読み理解してください。

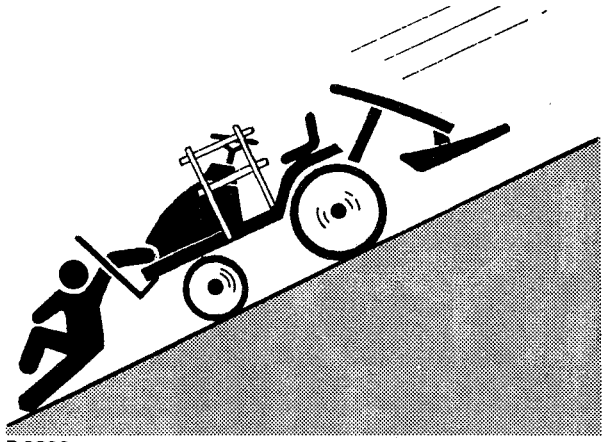
■降りての走行

●降りて走行するときは，機体の周囲に人を近づけないでください。特に，傾斜(坂道，アユミ板上，あぜごえなど)のあるところでは機体後方に人がいないことを確認してください。



P-3892

●傾斜のあるところでは，機体前部を傾斜上方向にして登り下りしてください。



P-3893

●降りての走行で傾斜のあるところでは，機体の正面で操作せずに，予備苗のせ台を**"収納位置"**にして機体左側(あぜごえレバー側)の位置で操作してください。

P-3894

⚠ 安全に作業するために

2．⚠表示ラベルと貼付位置

① 品番　PJ407-8973-4

⚠ 注　　意

降りて機械を動かすときの注意

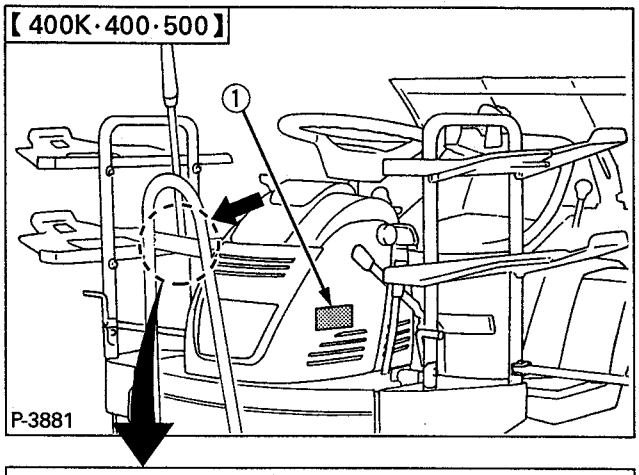
1.変速レバーを最低速のあぜごえ速度に合わせて下さい。

主変速レバー	「植付」または「後進」
SPシフトレバー(450除く)	「低速」
あぜごえシフトレバーまたは スーパーSPシフトレバー	「あぜごえ速度」

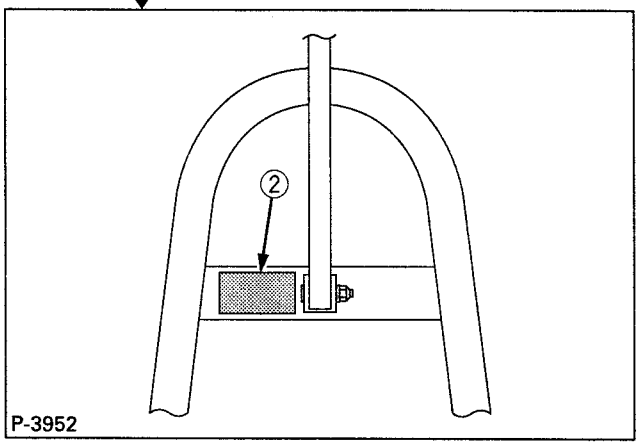
2.機体が傾斜状態にあるときは変速レバーの操作を絶対にしないで下さい。
（あぜごえレバーでブレーキがかかっている時でも機体が自重で急降下するおそれがあります。）

3.あぜごえアームを使用するときは、前輪を直進方向に向けて下さい。
（アームを前方一杯に倒すことによって前輪が直進方向で固定されて、あぜごえ走行が安全にできます。）

【400K･400･500】



P-3881

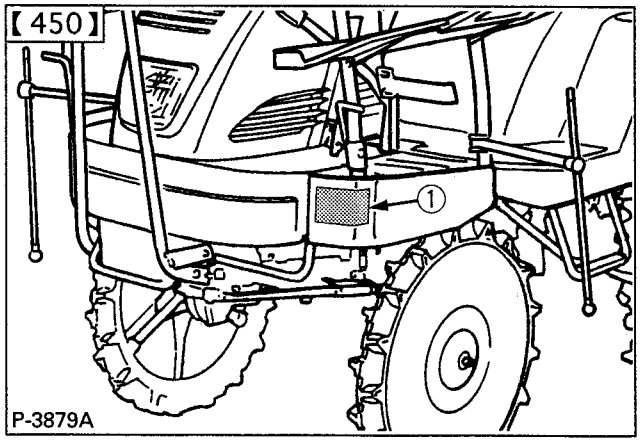


P-3952

② 品番　PJ481-8976-1

⚠ 注意　**ハンドル操作が重くなる場合があるので乗車時は必ずあぜごえアームを立てること。**

【450】



P-3879A

3．⚠表示ラベルの手入れ

(1)ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布でふいてください。
シンナーやアセトンなどの溶剤を使うと，文字や絵が消えることがありますので絶対に使わないでください。

(2)高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。

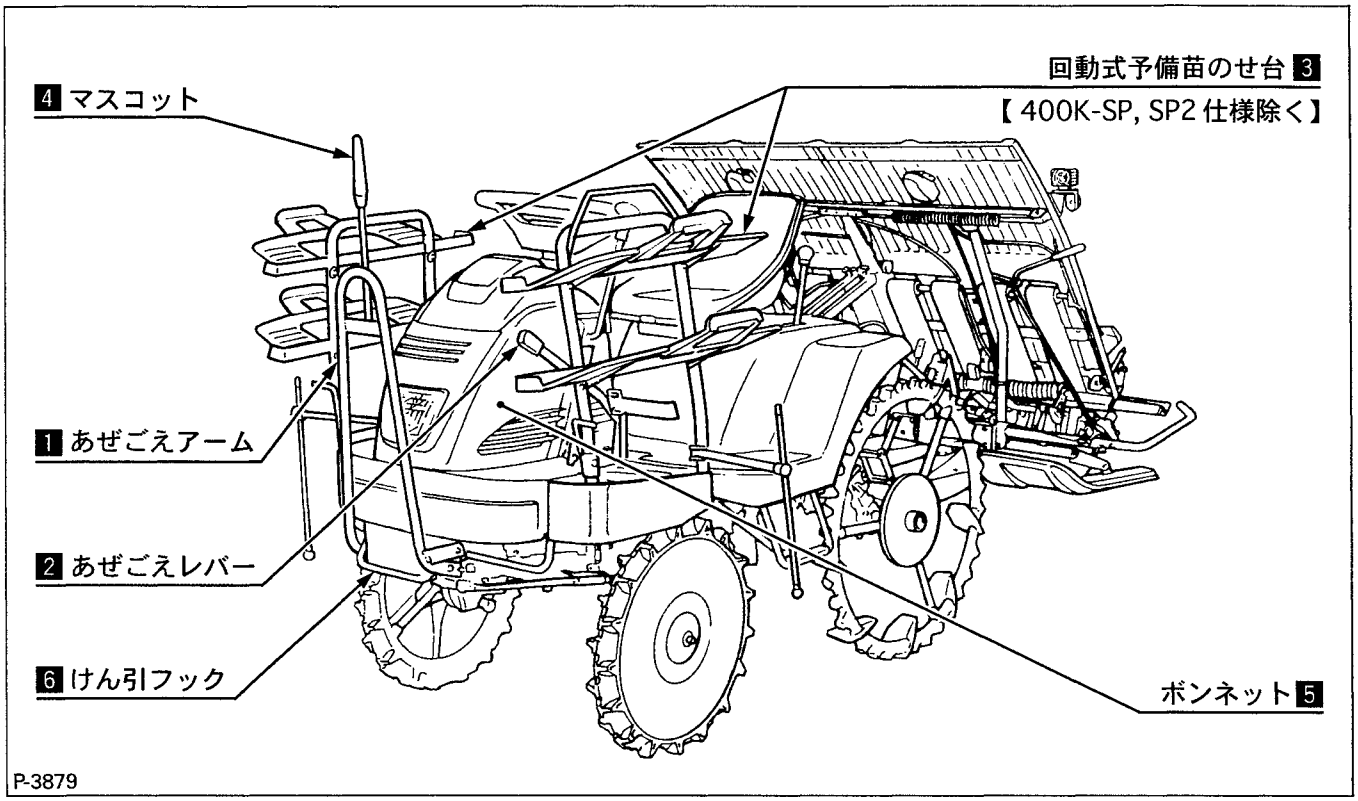
(3)破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。

(4)ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

(5)新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全にふき取り，乾いた後，もとの位置に貼ってください。

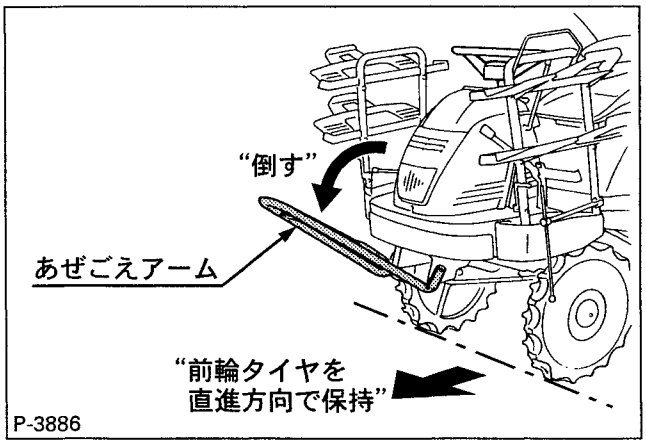
各装置の名称と取扱い

各装置の名称とはたらき



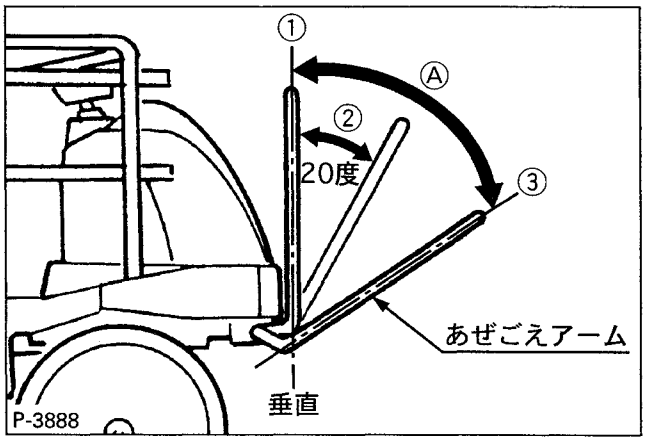
1 あぜごえアーム

ほ場の出入りをするときのあぜごえや，トラックへの積み・降ろし，急な斜面を登り降りするとき，機体の浮き上がり防止・引上げ・方向修正などを行なうアームです。操作するときは，前輪を直進方向にしてから，アームをいっぱいまで倒します。このとき，前輪タイヤは直進状態に保持されます。



◆あぜごえアームの操作について

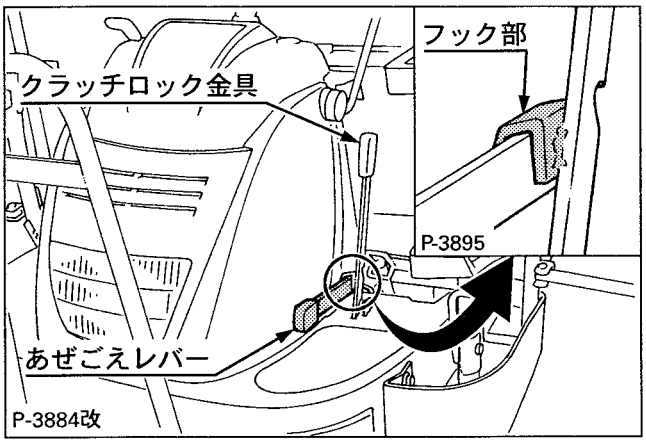
あぜごえアームは，作業内容及び作業状態により下記位置を基本として使用してください。



Ⓐ可動範囲 …… あぜごえアームが動く範囲
①収納位置 …… 乗車しての移動走行，及びトラック輸送時，長期格納時
②作業位置 …… 植付け作業時，20度の範囲，好みの位置で使用できます。
③降りての操作位置 …… あぜごえ時や急な坂道の登り下りなど降りて走行する時

2 あぜごえレバー

あぜごえアームを使用し，降りて走行する場合に機体の走行を一時停止するレバーです。停止させるときはレバーを押し下げて，クラッチロック金具のフック部に掛けてください。解除するときはフック部から外してください。



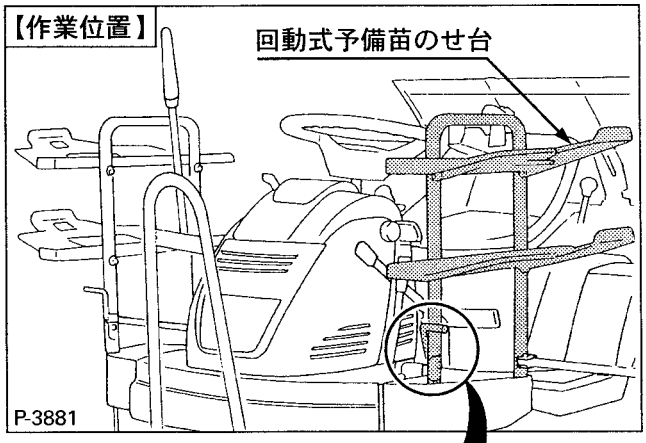
補　足

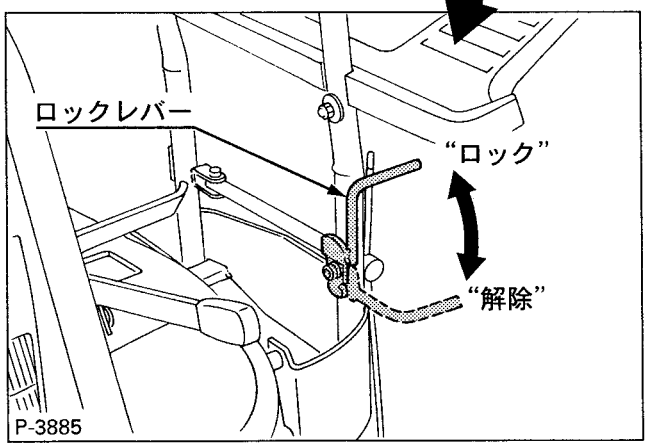
＊主クラッチペダルと連動させているためあぜごえレバーを操作するとクラッチが切れます。また，同時に機体の走行が停止します。

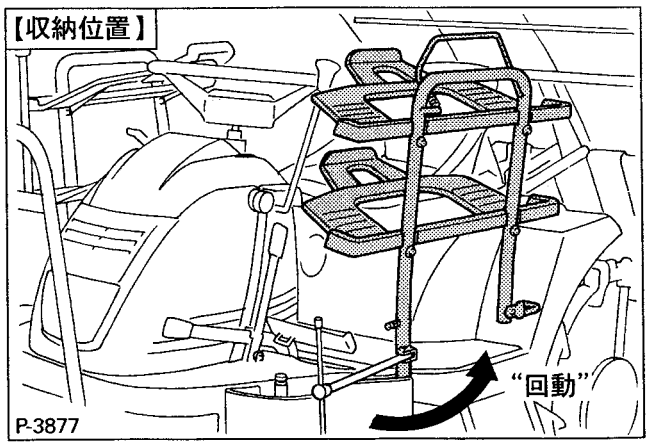
3 回動式予備苗のせ台【400K-SP，SP2仕様除く】

予備苗のせ台を後方にロックされるまで回すと**“収納位置”**になります。作業状態に応じて**“作業位置”**又は，**“収納位置”**にしてください。**“収納位置”**にセットするときは，ロックレバーを下側の**“解除”**位置に回したあと，予備苗のせ台を後方に回します。

予備苗のせ台の位置	作　業　状　態
作　業　位　置	• 植付け作業時 • 乗車移動走行時 • トラック輸送時
収　納　位　置	• 降りて走行するとき • トラックへの積み・降ろし時 • 長期格納時



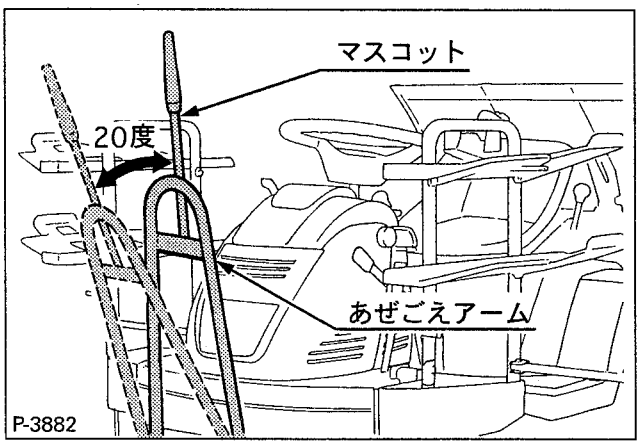




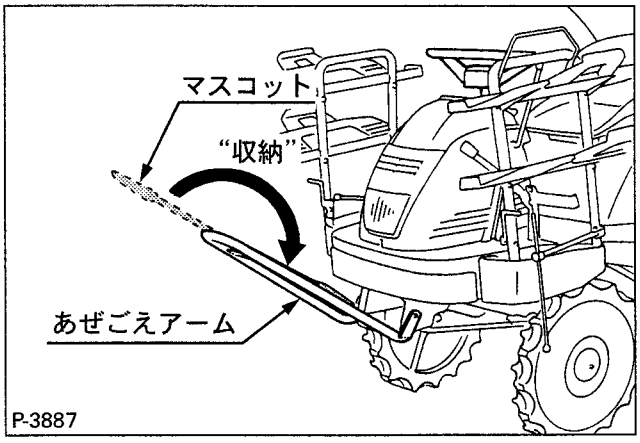
4 マスコット

注 意

＊マスコット使用時は，あぜごえアームを垂直に立てた状態から約20度の範囲内で角度調節を行ない，マスコットの位置を決めてください。また，20度以上倒すとハンドルを直進方向に保持する機能がはたらくため，ハンドル操作が重くなり，思わぬ事故の原因となります。



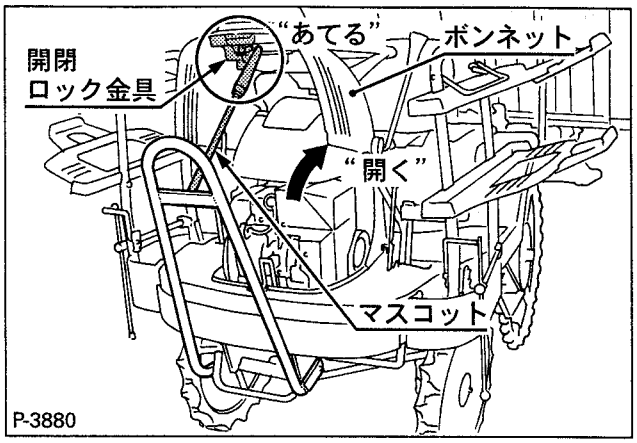
ラインマーカで印された線にマスコットを合わせて，植付け作業を行ないます。運搬走行時・あぜごえアーム使用時・格納時はマスコット先端を下向きにして収納してください。



5 ボンネット

◆ボンネットの開けかた

ボンネットの開閉を行なうときは，下図のようにボンネットの先端を持上げて開いたあと，マスコットの先端部をボンネットの開閉ロック金具部にあててください。

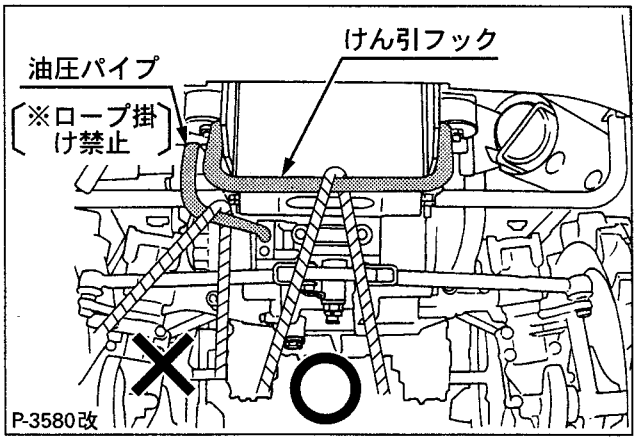


6 けん引フック

重 要

＊ロープは，あぜごえアームや油圧パイプに絶対にかけないようにしてください。機械が破損するおそれがあります。

＊本機が深田で動かなくなり引き上げるとき，このフックを利用して，前方に引いてください。横方向へは絶対に引かないようにしてください。フレームが曲がるおそれがあります。



移動走行

乗車走行・降りての走行について

警 告

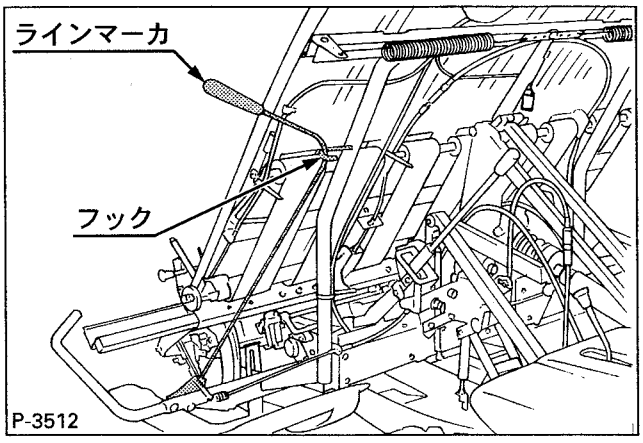
＊機体が右又は，左に大きく傾き，転倒するおそれがあるので，横方向に15度以上傾くところでは走行しないでください。

■乗車移動走行前の準備のしかた

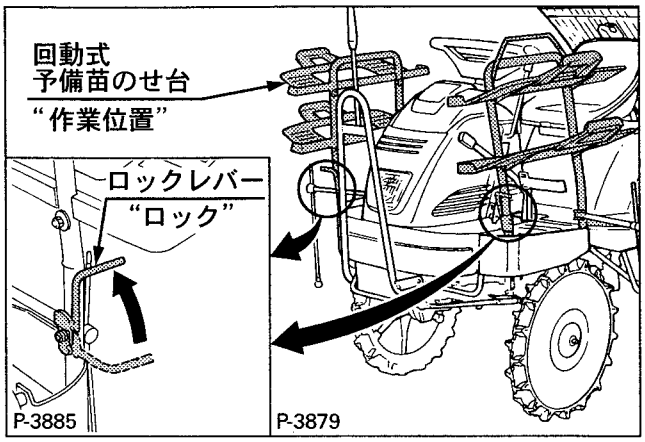
注 意

＊必ず左右のブレーキペダルを連結してください。
＊旋回するときはスピードを落としてゆっくり旋回し，片ブレーキは使用しないでください。高速での旋回は横転する危険があります。
＊運転者以外の人や物を乗せないでください。
＊傾斜地，路肩の軟弱な農道，路肩は走行しないでください。
＊ラインマーカを必ずロックしてください。
人や物にぶつけるおそれがあります。
＊SPシフトレバー【400K･400･500】・スーパーSPシフトレバー【450】は“低速”にしてください。
＊予備苗のせ台の上は空の状態にしてください。
＊あぜごえアームは，必ず“収納位置”にしてください。
＊ハンドル操作が重くなる場合があるので乗車時は，必ずあぜごえアームを立て(戻し)てください。

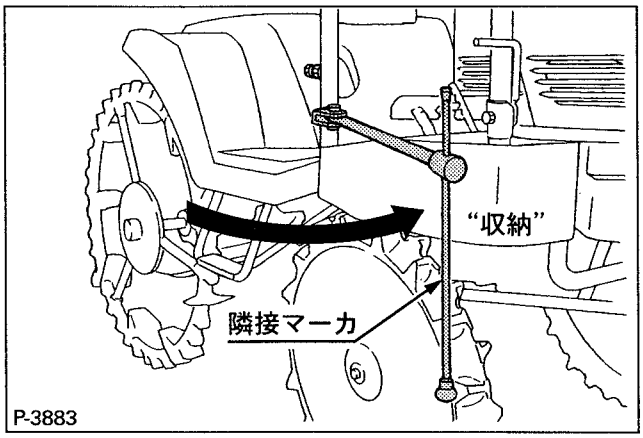
❶ラインマーカをフックに引っ掛けて収納します。



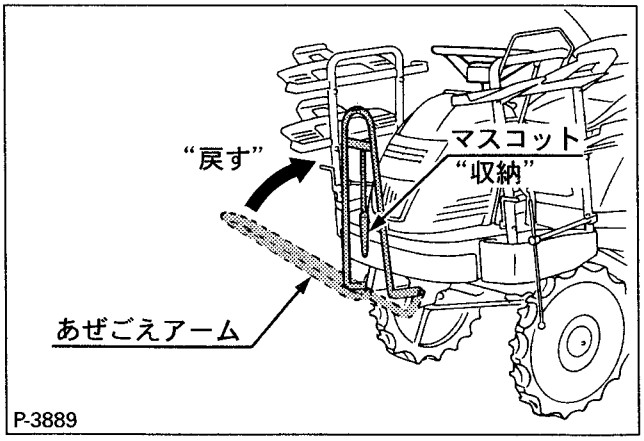
❷左，右の回動式予備苗のせ台を**“作業位置”**にしたあと，ロックレバーを確実にロックします。
【400K-SP，SP2仕様除く】



❸隣接マーカを収納します。



❹マスコットを収納し，あぜごえアームを**“収納位置”**(ボンネット側いっぱい)まで戻します。



❺植付部をいっぱい上にあげ，油圧昇降ロックを右に回しロックします。
❻主変速レバーを**“中立”**にして植付けクラッチレバーを**“植付”**にし，苗のせ台を機体中央に移動させます。
❼苗のせ台が中央にきたら，植付けクラッチレバーを**“N(中立)”**の位置にセットしてください。
❽SPシフトレバー**【400K･400･500】**・スーパーSPシフトレバー**【450】**は**“低速”**にしてください。あぜごえシフトレバー**【400K･400･500】**を**“高速”**または**“中速”**に，主変速レバーを**“植付”**または**“移動”**にして走行してください。

■駐・停車のしかた

別冊の取扱説明書の**“駐・停車のしかた”**の項を参照してください。

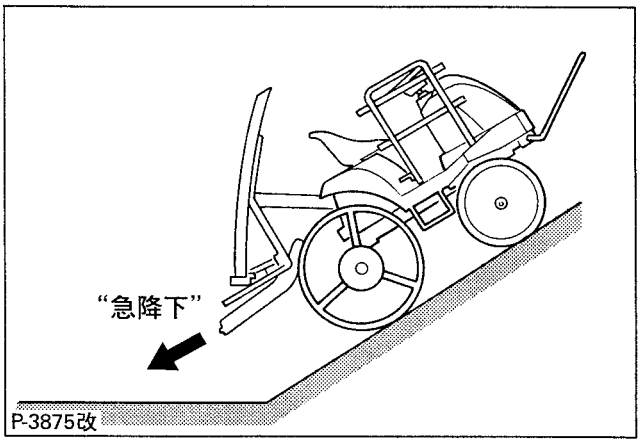
重 要

＊駐・停車をするときはあぜごえレバーを使用せずに，必ずブレーキペダルのロック操作でブレーキを掛けてください。

■降りての走行，及び乗車走行のしかた

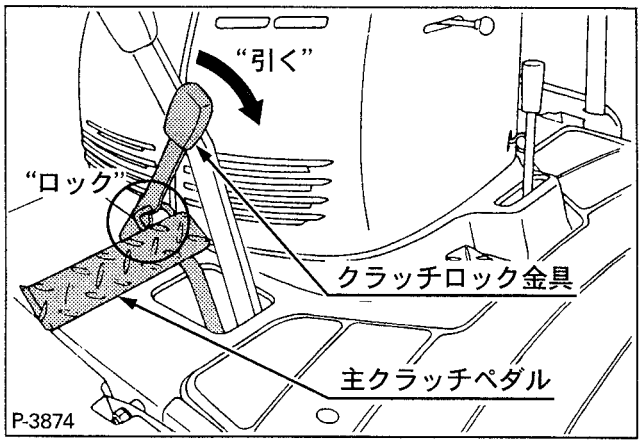
注 意

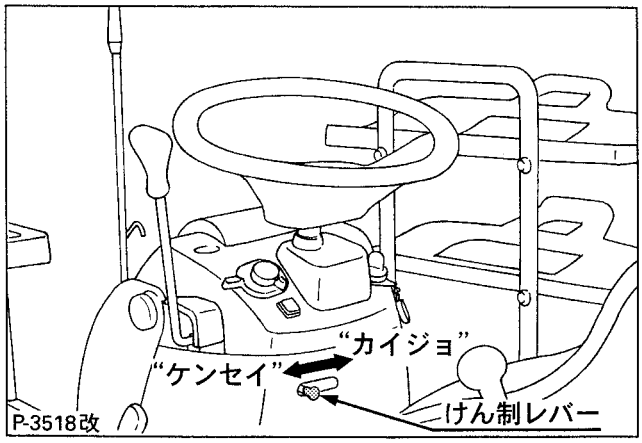
＊傾斜地でエンジンが停止したときは，直ちにあぜごえレバーを押し下げてロックし，周囲の安全を確認しながらあぜごえレバーをゆっくりロック解除したあと，徐々にあぜごえレバーを上げて機体を平坦地に降ろしてください。
＊機体には，人や物(苗など)を乗せないでください。
＊路肩の軟弱な農道では走行しないでください。
＊ラインマーカは，必ずロックしてください。人や物にぶつけるおそれがあります。
＊予備苗のせ台の苗は降ろしてください。
＊平たん地を選んで，準備してください。
＊主変速レバーは“後進”又は，“植付”にし，SPシフトレバー【400K･400･500】を“低速”，あぜごえシフトレバー【400K･400･500】・スーパーSPシフトレバー【450】は“あぜごえ速度”にしてください。
＊あぜごえアームを使用するときは，前輪を直進方向に向けてください。
＊降りて走行するときは，主変速レバーが“移動”に入るとたいへん危険です。必ずけん制レバーを“ケンセイ”位置で使用してください。
＊ハンドル操作が重くなる場合があるので乗車時は，必ずあぜごえアームを立て(戻し)てください。
＊洗車直後は，あぜごえレバーを操作しないでください。ブレーキの効きが悪くなるおそれがあり，特に傾斜地で急降下するおそれがあります。
＊傾斜地では，主変速レバー，あぜごえシフトレバーは，絶対に操作しないでください。あぜごえレバーでブレーキがかかっているときでも，機体が自重で動き出すため，大変危険です。



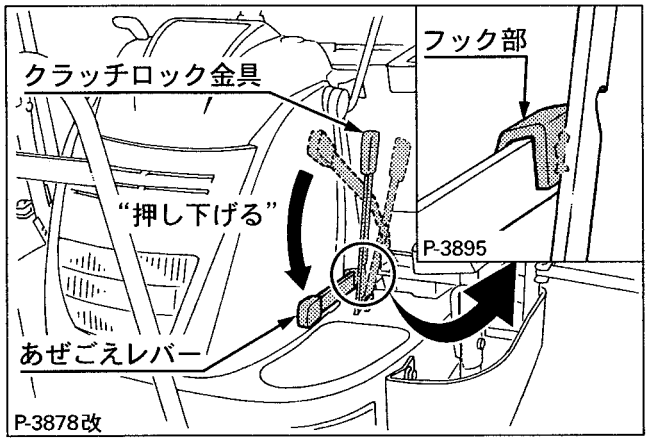
◆降りて走行するとき

❶乗って走行したあと，機体を平たん地で停止させ，主変速レバーを**“後進”**又は**“植付”**，SPシフトレバー**【400K･400･500】**を**“低速”**，あぜごえシフトレバー**【400K･400･500】**・スーパーSPシフトレバー**【450】**を**“あぜごえ速度”**にし，けん制レバーを**“ケンセイ”**位置にし，主クラッチペダルを踏み込み，クラッチロック金具でロックします。





❷機体から降りて走行するときは，あぜごえレバーを押し下げ，クラッチロック金具の側面にあるフック部に，あぜごえレバーを固定します。

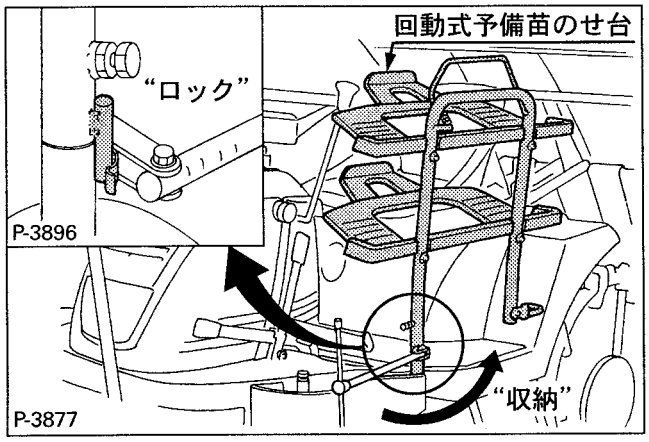


補　足

＊乗って走行するときは，クラッチペダルでクラッチを切り，降りて走行するときは，あぜごえレバーでクラッチを切り，ブレーキさせることになります，そのためあぜごえレバーを押し下げると，主クラッチペダルをロックしているクラッチロック金具は連動して起き上がり，主クラッチペダルのロックが外れます。

❸ラインマーカをフックに引っ掛けて収納します。

❹機体左側(あぜごえレバー側)の回動式予備苗のせ台を“収納位置”にします。ロックされる位置まで回し，確実に収納します。【400K-SP，SP2仕様除く】



❺隣接マーカを収納します。

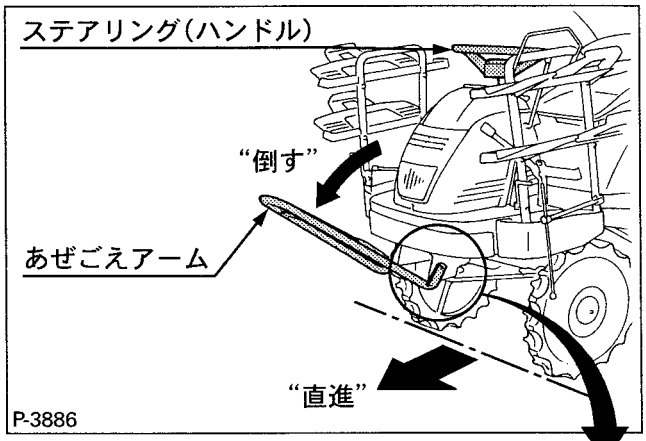
❻あぜごえアームを前方一杯に倒してマスコットを収納したあと，前輪を直進方向に保持するため次のことを確認します。

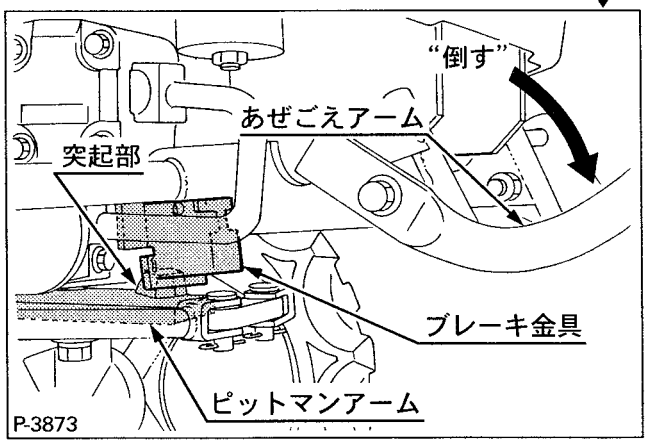
(1)ステアリング(ハンドル)で前輪を直進方向にします。

(2)あぜごえアームを前方いっぱいに倒します。

補　足

＊あぜごえアーム取付部付近にあるブレーキ金具が，ピットマンアームの突起部にはまり込んでいるか確認します。はまり込んでいないときは，ステアリング(ハンドル)を回してはめ込んでください。





❼あぜごえアームを前側一杯に倒した状態で周囲を確認しながらあぜごえレバーのロックを解除して機体を走行させます。

◆乗車走行するとき

再び乗車走行するときは，次の操作を行なってください。

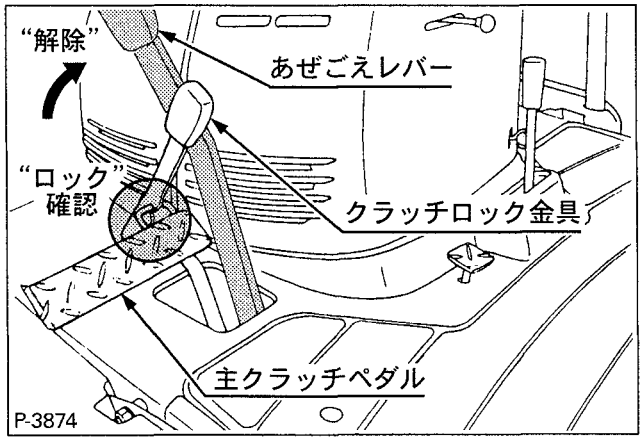
❶平たん地を選んであぜごえレバーを押し下げ，機体を停止させたあと，フック部にあぜごえレバーを固定します。

❷機体左側(あぜごえレバー)の回転式予備苗台を**“作業位置”**にしたあと，ロックレバーを確実にロックします。

❸あぜごえアームを**“収納位置”**(ボンネット側いっぱい)まで戻します。

❹あぜごえレバーを押し下げた状態で，主クラッチペダルをクラッチロック金具でロックします。

❺あぜごえレバーを解除しながら，主クラッチペダルのロックを確認します。そのあと，運転席に座り運転操作を行ないます。



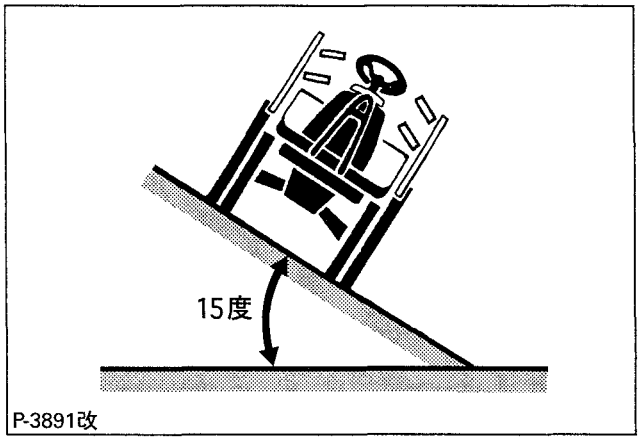
◆あぜごえアーム及びあぜごえレバーの使いかた

注 意

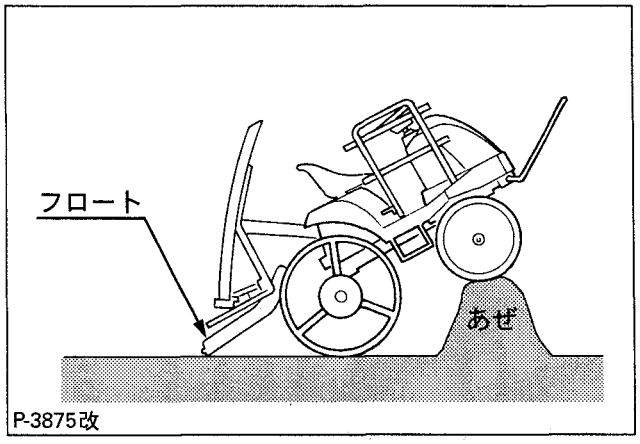
＊あぜごえアームは下記条件の場合は使用を避け，必ずアユミ板を使用してください。

(1)機体が傾くと滑り落ちるところ

(2)機体が右又は，左に15度以上傾くところ

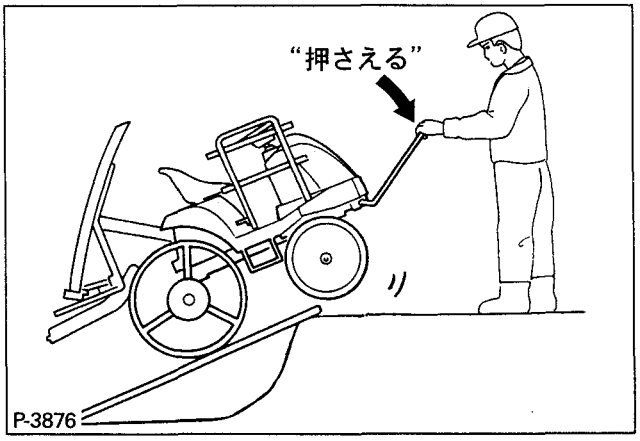


(3)あぜなどの段差や傾斜の角度が大きいとき，植付部が最上昇位置でもフロートが地面に当たるところ



＊あぜごえ，坂道走行，トラックへの積み・降しの時，前輪が浮き上がるときは，あぜごえアームを押さえ，浮き上がりを防止してください。

＊あぜごえアームに力を入れるときは，足元にじゅうぶん注意してください。



輸送について

■トラックとアユミ板の準備

注 意

＊積込み・積降しは平たん地を選び，トラックの駐車ブレーキをしっかり掛けてください。
＊アユミ板はフックが付いているもので，じゅうぶんな強度，幅(30cm以上)，長さ(高さの4倍以上)のある基準に合ったすべり止め付きのものを使用し，田植機の重量でアユミ板が傾いたりしない場所を選んでください。
＊アユミ板を荷台に掛けるときは，段差がなく平行で，左・右のあおりに機体が接触しない位置に合わせてください。

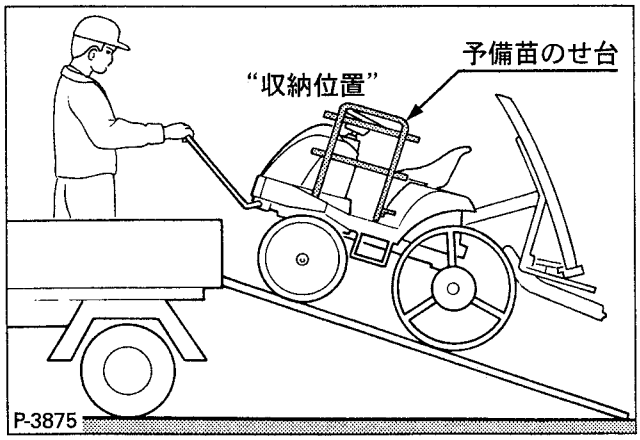
アユミ板の基準

長　さ	車の荷台の高さの4倍以上
幅	30cm以上
数　量	2枚
強　度	1枚が500kg以上の重量に耐えうる

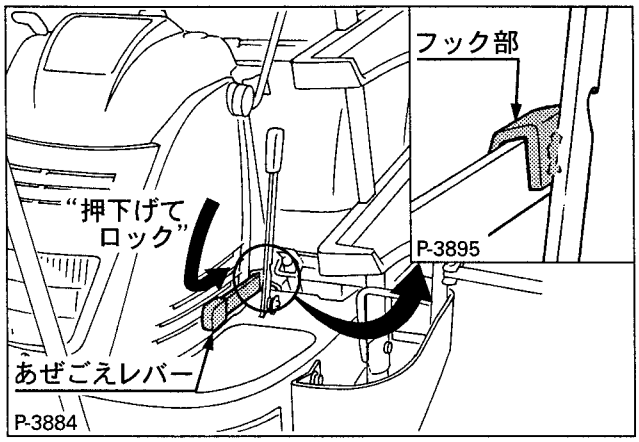
■積み・降ろしのしかた

注 意

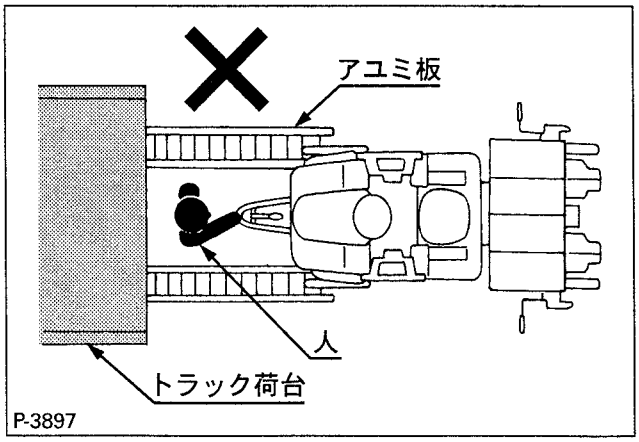
＊平たん地を選び，できるだけ助手の立合誘導のもとに行なってください。また，田植機の周囲に人を近づけないでください。
＊機体から降りて，積み・降ろし作業を行なうときは，あぜごえアームを使用して走行してください。走行する際，特に機体左側(あぜごえレバー側)の予備苗のせ台は"収納位置"にしてください。また，積込みは前進で，積降ろしは後進で行なってください。



＊アユミ板上を走行中，緊急に停止するときは，あぜごえレバーを押下げてクラッチロック金具のフック部にロックしてください。

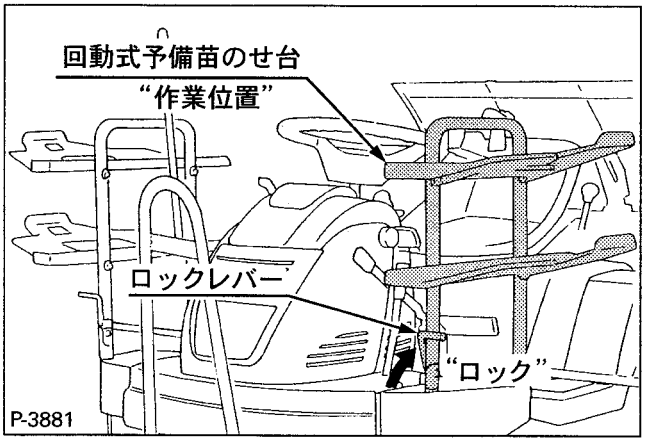


＊苗のせ台，予備苗のせ台に苗や物を積んでの積み降ろしは危険ですので，必ず荷物はおろしてください。
＊積み・降ろしの，傾斜地(坂など)の途中で，各変速レバーを操作しないでください。
＊洗車直後は，あぜごえレバーを操作しないでください。ブレーキの効きが悪くなるおそれがあり，特に傾斜地で急降下するおそれがあります。
＊積み込むときは，アユミ板の間に入らないでください。機械とトラックにはさまれ，ケガをするおそれがあります。



＊積み込むときは，トラックのキャビンにあぜごえアームがあたらないように"収納位置"に戻してください。
＊荷台では機体左側(あぜごえレバー側)に立って作業してください。

＊トラック輸送中は回動式予備苗のせ台【400K-SP，SP2仕様除く】を必ず“作業位置”にしてロックレバーで確実にロックしてください。“収納位置”の場合，ロック力が弱いため輸送時にロックが外れて，破損及び事故につながるおそれがあります。



❶植付部をいっぱい上にあげ，油圧昇降ロックを右に回しロックします。

❷ラインマーカを確実にロックし，隣接マーカは収納します。

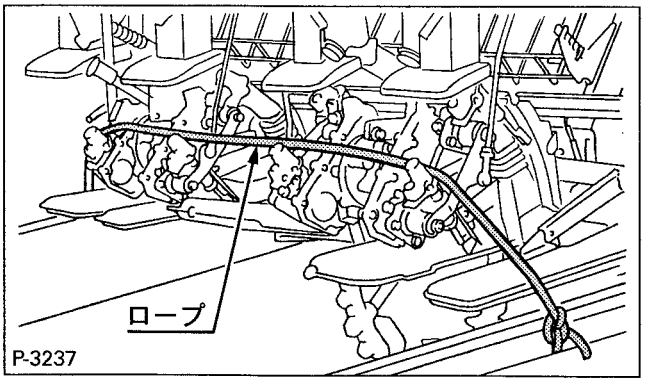
❸回動式予備苗のせ台を**“収納位置”**にします。ロックされる位置まで回し，確実に収納します。
【400K-SP，SP2仕様除く】

❹SPシフトレバー**【400K･400･500】**を**“低速”**，あぜごえシフトレバー**【400K･400･500】**・スーパーSPシフトレバー**【450】**を**“あぜごえ速度”**にし，主変速レバーを**“植付”**の位置にして，積込みは**前進**でゆっくり行ないます。

❺トラックのキャビンにあぜごえアームがあたらないように**“収納位置”**にアームを戻し，あぜごえレバーで機体の走行を止めます。

❻積込みが完了したら主変速レバーを**“植付”**又は**“後進”**に入れ，駐車ブレーキをかけ，エンジンを止めたあと燃料コックを**“閉”**にします。

❼植付部がバウンドしないように，軽くロープ掛けします。



❽車輪にロープをかけて固定します。

❾トラックから降ろす場合は，SPシフトレバー**【400K･400･500】**を**“低速”**，あぜごえシフトレバー**【400K･400･500】**・スーパーSPシフトレバー**【450】**を**“あぜごえ速度”**にして，主変速レバーを**“後進”**の位置でゆっくりと降ろしてください。

ほ場への出入り

警 告

＊機体から降りてほ場に出入りするときは，あぜごえアームを使用して出入りしてください。

＊あぜなどの段差が大きいときや，傾斜角度が大きいときは，アユミ板を使用して出入りしてください。

＊主変速レバーは“後進”又は，“植付”にし，SPシフトレバー【400K･400･500】を“低速”，あぜごえシフトレバー【400K･400･500】・スーパーSPシフトレバー【450】は“あぜごえ速度”にしてください。

＊予備苗など田植機に荷物を積んでの積み・降ろしは危険ですので，必ず荷物はおろして出入りしてください。

＊機体が右又は，左に大きく傾いたときは転倒するおそれがあるので，15度以上傾斜のあるところでは走行しないでください。

■ほ場への出入りのしかた

必ずほ場・あぜに直角に進入してください。

メンテナンス

■圧縮スプリングの脱着

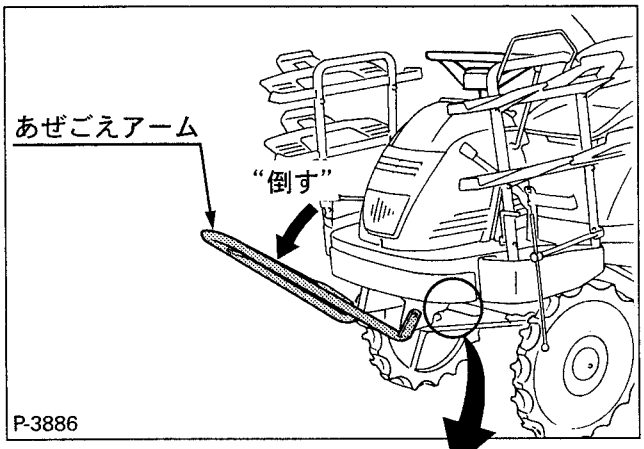
注 意

＊エンジンを止めて，平たんな場所で行なってください。

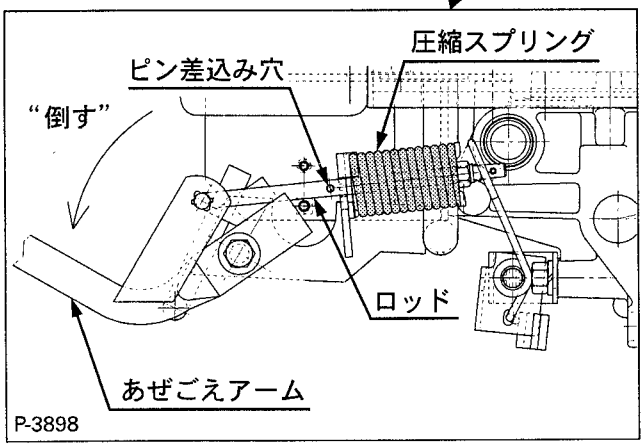
あぜごえアームを取外すときなど圧縮スプリングを取外すときは，圧縮スプリングを圧縮した状態で脱着してください。

❶あぜごえアームを前方いっぱいまで倒します。

❷圧縮スプリングのロッドの中央付近に開いている穴にピンを差込みます。



P-3886

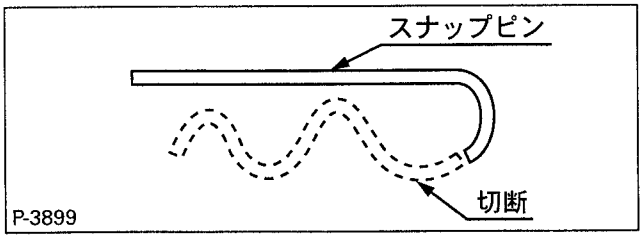


P-3898

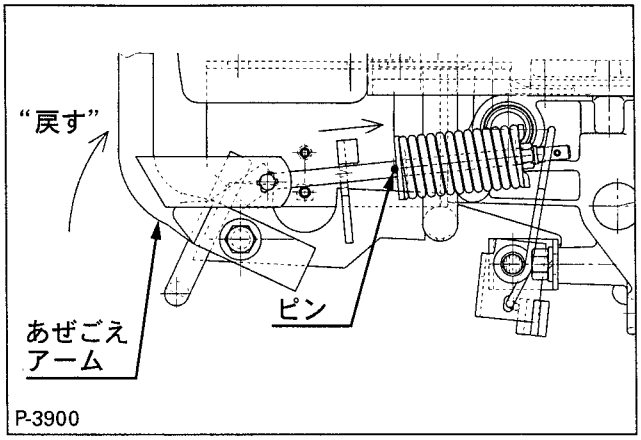
補 足

＊差込むピンはスナップピンを下図のように一部切断したものを使用すると簡単に行なえます。

❸ピンを差込んだ状態であぜごえアームを，**“収納位置”**に戻します。



P-3899



P-3900

付　表

主要諸元

型式			SPJ400K			SPJ400			
区分			SP	B1-SP	B2-SP	SP	SP2	S-SP	S-SP2	SD-SP
形式			自走式							
駆動方式			4輪駆動							
機体寸法	全長〔作業時〕(mm)		2455〔2495〕			2415〔2455〕				
	全幅〔作業時〕(mm)		1600〔2000〕							
	全高(mm)		1240			1265				
	最低地上高(mm)		315			340				
機体質量(kg)			275	290	295	305		315		320
エンジン	型式名		GH170-1-P			GH190-P-1		GH190-P-S-1		
	種類		空冷4サイクルOHVガソリンエンジン							
	総排気量(L{cc})		0.169{169}			0.194{194}				
	出力/回転速度(kw{PS}/rpm)		2.8{3.8}/1600〔最大4.4{6.0}〕			3.3{4.5}/1600〔最大4.7{6.4}〕				
	使用燃料		自動車用レギュラーガソリン〔無鉛〕							
	燃料タンク容量(L)		4.5							
	始動方式		リコイルスタータ式					セルモータ式		
	バッテリ(V・Ah)		—					12・21		
走行部	かじ取り方式		アッカーマン方式							インテグラルパワーステアリング方式
	車輪 種類	前輪	ノーパンクタイヤ〔ソリッドタイヤ〕							
		後輪	ゴム両ラグ車輪			ゴム片ラグ車輪 〔L仕様：ゴム両ラグ車輪〕				
	車輪 外径(mm)	前輪	500			550				
		後輪	700			750				
	車輪 輪距(mm)	前輪	740							
		後輪	760							
	変速段数(段)		前進：8〔植付：2〕，後進：4			前進：12〔植付：4〕，後進：6				
植付部	植付方式		クランク式			ロータリ式強制植付け				
	植付部の位置		後植え							
	植付部 昇降方式		油圧式							
	植付部 装着方式		平行4点リンク							
	植付条数(条)		4							
	植付条間(cm)		30							
	植付株間(cm)		16,18,21〔V仕様：13,16,18〕							
	植付株数(株/3.3m²)		70,60,50〔V仕様：85,70,60〕							
	植付深さ(cm)		1～4〔5段階〕							
	一株本数調節方法	横送り回数	20回，26回〔2段〕							
		縦かき取り量(mm/株)	8～18							
苗の条件	苗の種類		マット苗							
	草丈(cm)		8～25							
	葉令(葉)		2.0～4.5							
予備苗とう載数(箱)			—	4						
植付速度(m/s)			～0.72		～0.77	～1.0				
作業能率(a/h{分/10a})			※ ～20{30～}		※ ～21{28～}	※ ～29{21～}				

＊ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

※ 車輪スリップ率10％での計算値

型式			SPJ450		SPJ500	
区分			DM-SP	ADM-SP	S-SP	SD-SP
形式			自走式			
駆動方式			4輪駆動			
機体寸法	全長〔作業時〕(mm)		2440〔2480〕		2415〔2455〕	
	全幅〔作業時〕(mm)		1600〔2000〕		1900〔2470〕	
	全高(mm)		1290		1445	
	最低地上高(mm)		365		340	
機体質量(kg)			345		370	
エンジン	型式名		GH200-P-S-2		GH200-P-S-3	
	種類		空冷4サイクルOHVガソリンエンジン			
	総排気量(L{cc})		0.194{194}			
	出力/回転速度(kw{PS}/rpm)		3.5{4.8}/1800〔最大5.0{6.8}〕			
	使用燃料		自動車用レギュラーガソリン〔無鉛〕			
	燃料タンク容量(L)		4.5			
	始動方式		セルモータ式			
	バッテリ(V・Ah)		12・21			
走行部	かじ取り方式		インテグラルパワーステアリング方式		アッカーマン方式	インテグラルパワーステアリング方式
	車輪 種類	前輪	ノーパンクタイヤ〔ソリッドタイヤ〕			
		後輪	ゴム片ラグ車輪〔L仕様：ゴム両ラグ車輪〕		ゴム両ラグ車輪	
	車輪 外径(mm)	前輪	600		550	
		後輪	800		750	
	車輪 輪距(mm)	前輪	740		900	
		後輪	760		900	
	変速段数(段)		主変速 前進：2段，後進：1〔両割プーリ広範囲ベルト変速〕		前進：12〔植付：4〕，後進：6	
植付部	植付方式		ロータリ式強制植付け			
	植付部の位置		後植え			
	植付部 昇降方式		油圧式			
	植付部 装着方式		平行4点リンク			
	植付条数(条)		4		5	
	植付条間(cm)		30			
	植付株間(cm)		16,18,21〔V仕様：13,16,18〕			
	植付株数(株/3.3m²)		70,60,50〔V仕様：85,70,60〕			
	植付深さ(cm)		1～4〔5段階〕			
	一株本数調節方法	横送り回数	20回，26回〔2段階〕			
		縦かき取り量(mm/株)	8～18			
苗の条件	苗の種類		マット苗			
	草丈(cm)		8～25			
	葉令(葉)		2.0～4.5			
予備苗とう載数(箱)			4		6	
植付速度(m/s)			～1.2		～1.0	
作業能率(a/h{分/10a})			※ ～33{18～}		※ ～35{17～}	

＊ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

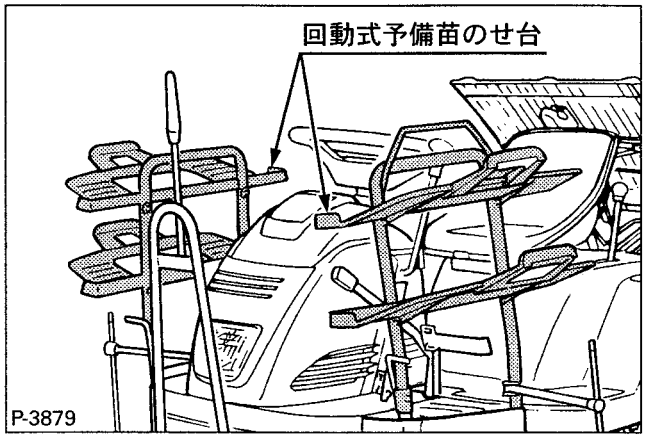
※ 車輪スリップ率10％での計算値

オプション部品(別売)
(純正部品を使いましょう)

■回動式予備苗のせ台

予備苗を４枚乗せることができます。

品　名	品　番	対応機種	
		400K	400
キット(ヨビナエダイ, SP)	PJ491-9820-0	SP	SP2, S-SP2



修理・取扱い・手入れなどでご不明の点はまず，購入先へ　ご相談ください

おぼえのため，記入されると便利です

購入先名　　担当　　電話（　　）　　－		
ご購入日	型式名	区分
車台番号(製造番号)	エンジン型式　　エンジン番号	

万一購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

株式会社クボタ

機械札幌事務所：電(011) 662-2121　〒063-0061　札幌市西区西町北16丁目１番１号
機械東日本事務所：電(048) 862-1121　〒338-0832　浦和市西堀５丁目２番36号
機械西日本事務所：電(0722) 41-8506　〒590-0806　堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号
機械福岡事務所：電(092) 606-3161　〒811-0213　福岡市東区和白丘２丁目２番76号

株式会社クボタアグリ東日本

秋田事業所：電(0188) 45-1601　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台事業所：電(022) 384-5162　〒981-1221　名取市田高字原182番地の１
東京事業所：電(048) 862-1124　〒338-0832　浦和市西堀５丁目２番36号
新潟事業所：電(025) 285-1261　〒950-0992　新潟市上所上１丁目14番15号

株式会社クボタアグリ西日本

金沢事業所：電(0762) 75-1121　〒924-0038　松任市下柏野町956-１
名古屋事業所：電(0586) 24-5111　〒491-0031　一宮市観音町１番地の１
大阪事業所：電(0722) 41-8550　〒590-0806　堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号
米子事業所：電(0859) 33-5011　〒683-0804　米子市米原７丁目１番１号
岡山事業所：電(086) 279-4511　〒703-8216　岡山市宍甘275番地
高松事業所：電(0878) 74-5091　〒769-0102　香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３

株式会社クボタアグリ九州

福岡事業所：電(092) 606-3725　〒811-0213　福岡市東区和白丘２丁目２番76号
熊本事業所：電(096) 357-6181　〒861-4147　熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１

SPJ400K-SP・400-SP・450-SP・500-SP
AF．◎．8－17．12．AK

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者
が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

株式会社クボタ

本　社　　大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号　　〒556-8601

品番　PJ407－9759－5

Kubota